

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	教育局総務課
	施策	学校教育環境の整備	電話番号	087-839-2611	
	基本事業	学校教育施設の整備	事業実施主体	市	
	事務事業	小・中学校施設老朽化対策事業	事業期間	平成 28年度～平成 35年度	

【事業全体概要】

事業の概要	小・中学校施設について、維持管理コストを抑えながら長寿命化を図り、良好な教育環境を維持するとともに、ファシリティマネジメントの視点に立った施設の有効利用を図るため、中・長期的視点に立った学校施設整備計画（仮称）を策定し、計画的かつ効果的な老朽化対策に取り組みます。			
29年度概要	小・中学校施設整備計画の策定 小・中学校施設耐力度調査			
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	インフラ・施設等整備

【事業の目的】

対象（何を）	小学校、中学校
意図（どのような状態にしたいか）	計画的かつ効果的な老朽化対策を実施することで、学校施設の整備コストを抑えながら、長寿命化を図り、良好な教育環境を維持するとともに、ファシリティマネジメントの視点に立った、施設の有効活用を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
老朽化対策に着手した施設数	棟			0	0	1

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
	老朽化対策進捗率	%	目標値		0	0	0	5
			実績値			0		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 計画的かつ効率的な老朽化対策を行うため、中・長期的視点に立った学校施設整備指針の策定を行った。 (目標達成度)							(達成度)
	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度（決算）	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（予算）
トータルコスト	[円]			10,193	39,555
（事業費）	[円]			7,838	37,200
（職員人件費）	[円]			2,355	2,355

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

今後、学校施設の老朽化がさらに進行し、学校施設の改修・改築の需要が集中することが想定される中、施設の長寿命化対策は喫緊の課題であり、計画的に実施する必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

建築後 30 年以上経過した施設を対象に老朽化の状況を把握し、29 年度を目標に学校施設整備計画（仮称）を策定し、計画的かつ効果的な老朽化対策に取り組む。